

黒石市 地震防災マップ

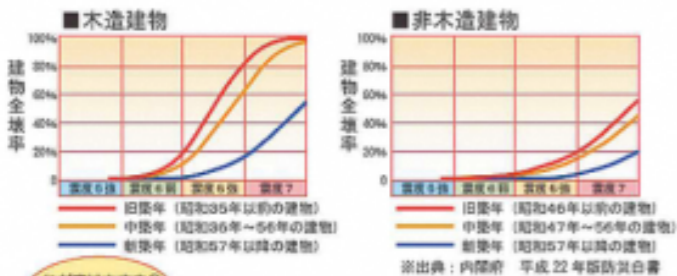
黒石市では、市民の皆さんが生活する地域について、想定する地震に対する「揺れ（震度）」や「建物被害状況（建物全壊率）」について示した、地震防災マップを作成しました。このマップを活用して、お住まいの地域やよく行くところなどの「揺れ」の大きさや自分の家に必要な耐震対策について家族で考えてみましょう。

地域の危険度マップ

「危険度マップ」とは、想定震度と建物の構造・建築年代から「建物全壊率（危険度）」を地区別に計算し色別に表示したものです。建物のない範囲や、全壊する建物がないと想定される範囲には着色していません。このマップでは、黒石市に最も影響が大きい「内陸型地震（M7.2）」を想定しています。

震度と建物全壊率の関係

下のグラフは、過去の地震による震度と建物全壊率の関係を建物の構造・建築年代別に示したものです。震度に対し、建築年代が古い昭和56年以前の建物での建物全壊率が高くなっています。



昭和56年以前の建物は要注意！

木造住宅の耐震診断で安全なわが家を！

黒石市では、市民の皆さんが安心して耐震診断ができるように「木造住宅耐震診断」に関わる相談に応じています。

古い耐震基準が適用されていた時期（昭和56年5月以前）に建てられた家や、壁が少ない造りの家などは耐震性が低くなっていますので、専門家による耐震診断を受けることをお勧めしています。

住宅耐震診断の相談先：黒石市建設部都市建築課 電話：0172-52-2111（内線226）

地震発生時の心得

地震が起きたら！

1 落ち着いて身の安全を確保する！

- 机やテーブルの下に身をかくし、座布団などがあれば頭を保護する。
- 揺れを感じたら、玄関など扉を開け脱出口を確保する。
- あわてて外へ飛び出さない。

2 あわてずに火災を防ぐ！

- 揺れを感じたら、使用中のガス器具、ストーブなどの火を消す。
- 地震の揺れは長くても1分ほどでおさまるので、火の始末は落ち着いて行う。

3 狭い路地、塀、崖や川べりに近寄らない！

- 狭い路地や塀ぎわでは、瓦の落下や、ブロック塀・コンクリート塀が倒れてくる危険があるので避ける。
- 崖や川べりは、地盤が緩んでいる場合があるので避ける。

4 正しい情報に従って行動する！

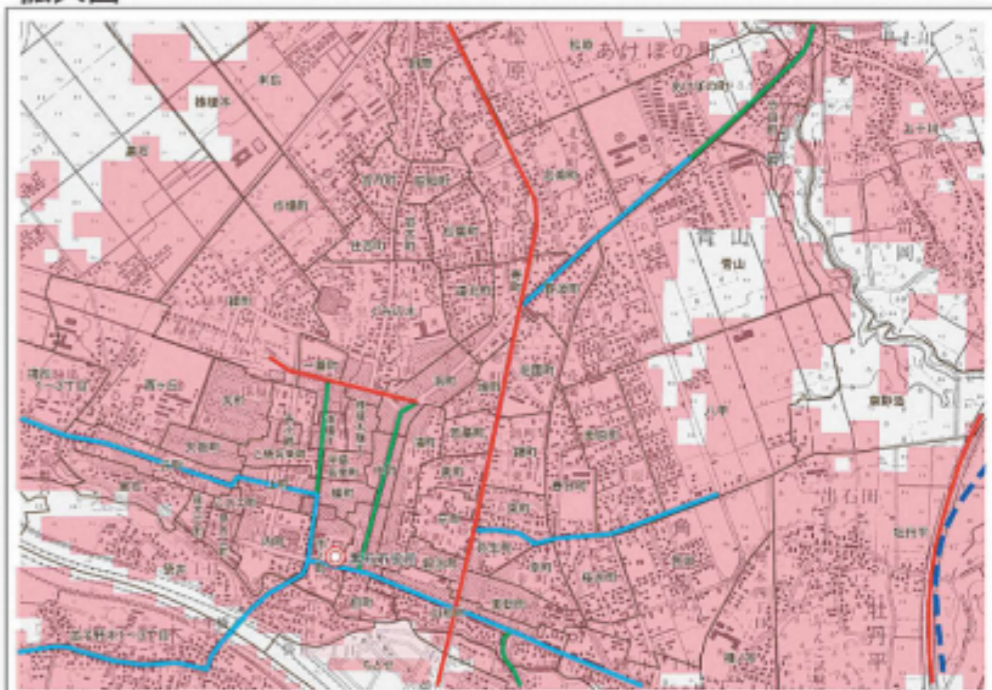
- 大きな地震のあとは余震がしばらく続く場合があるので注意する。
- 未確認の情報にまどわされず、市町村、消防署、警察などからの正しい情報を入手する。

5 乗り物での移動中もあわてず行動する！

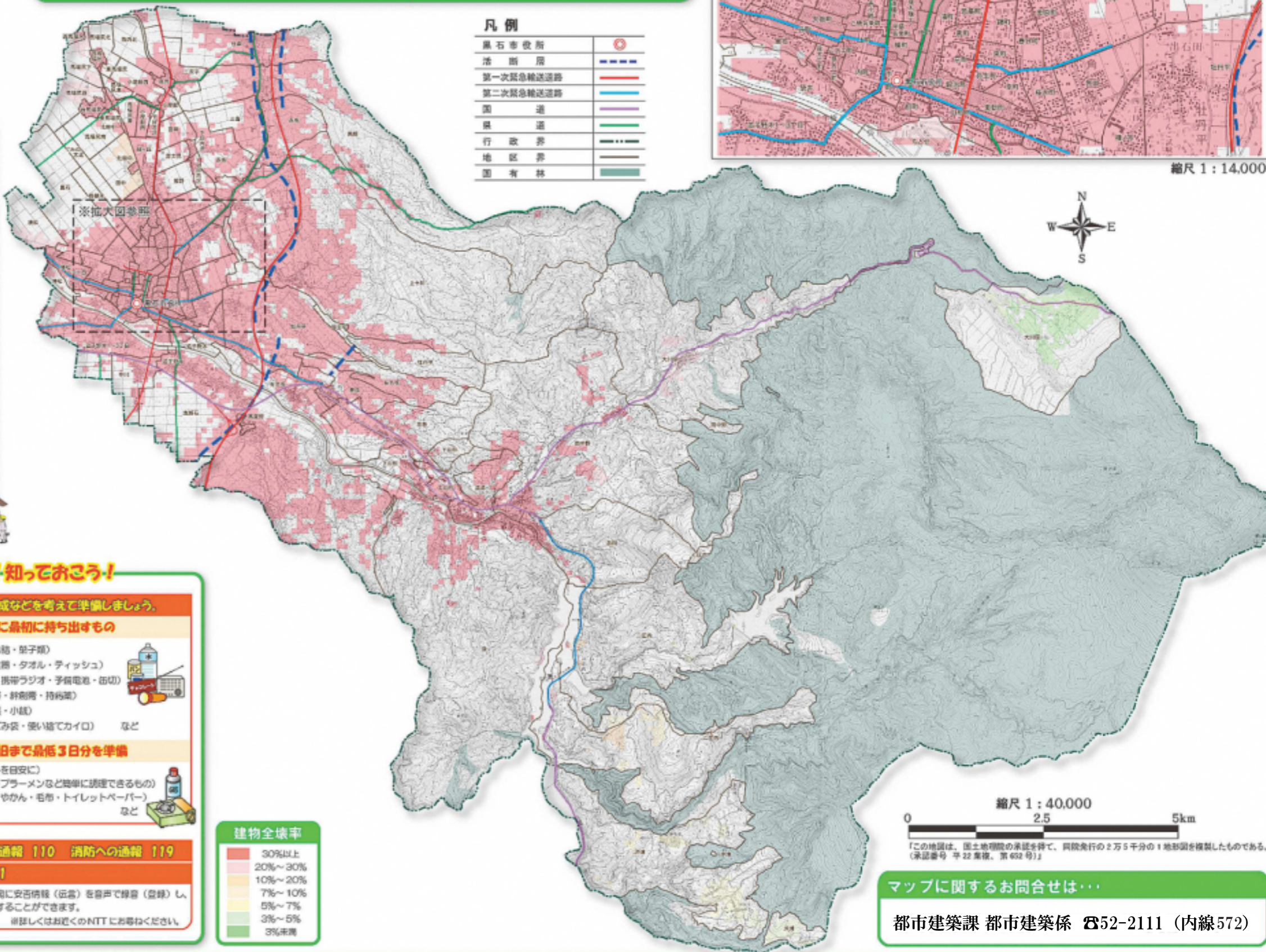
- 車の運転中はあわてずスピードを落とさず、ゆるやかに減速を怠らず。
- 鉄道やバスでは吊革や手すりなどにしっかりつかまる。
- エレベーターでは両手りの際で停止させ、速やかに降りる。



拡大図



縮尺 1:14,000



縮尺 1:40,000
0 2.5 5km

「この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平22業複 第492号）」

マップに関するお問合せは...

都市建築課 都市建築係 ☎52-2111（内線572）

地震に対する備え

日ごろから備えておこう！知っておこう！

1 家具の転倒・落下防止をしておこう！

- 家具やテレビなどを固定し、転倒や落下、移動の防止対策をする。
- 避難の妨げとなる出入口の近くに家具を置かない。



2 家屋や塀の強度を確認しておこう！

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロック塀や石塀の点検・補強をしておく。



3 消火の備えをしておこう！

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂水のくみ置きをしておく。
- ストーブなど火元近くに燃えやすい物を置かない。

4 非常持出品を準備しておこう！

- 水や食料、負傷したときの救急医療品など最低限必要な準備をしておく。
- 非常持出品は、いつでも持ち出せる場所に置く。



5 家族で話し合っておこう！

- 家の中でどこが一番安全か確認しておく。
- 家族が離れ離れになった場合の安否の確認方法や集合場所を決めておく。

非常持出品 家族構成などを考えて準備しましょう。

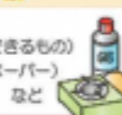
● 一次持出品 非常時に最初に持ち出すもの

- 飲料水・非常食（乾パン・缶詰・菓子類）
- 生活用品（衣類・紙食器・タオル・ティッシュ）
（懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池・缶切り）
- 救急医療品（傷薬・包帯・絆創膏・持病薬）
- 貴重品（印鑑・通帳・小銭）
- その他（ビニールごみ袋・使い捨てカイロ） など



● 二次持出品 災害復旧まで最低3日分を準備

- 水（1人1日3リットルを日安に）
- 保存食（レトルト食品・カップラーメンなど簡単に調理できるもの）
- その他（卓上コンロ・燃料・やかん・毛布・トイレットペーパー） など



緊急連絡先 警察への通報 110 消防への通報 119

災害用伝言ダイヤル 171

被災地の方が、自宅の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができます。

※詳しくはお近くのNTTにお尋ねください。

建物全壊率

- 30%以上
- 20%～30%
- 10%～20%
- 7%～10%
- 5%～7%
- 3%～5%
- 3%未満